

出版記念講演会

教室でできる「関係づくり」の具体方策
「王道」ステップ ワン・ツー・スリー

私たちと一緒に学びましょう！



名城大学大学院
大学・学校づくり研究科 曾山和彦

2016.2.28

現代社会における
学校存在の意義

学校は、「人を人にする最後の砦」！

- 三世代世帯が減少、核家族世帯が増加
- 地域の教育力は昔に比べ低下
 - 最大要因は「他人の関与を歓迎しない風潮」(私事化)
- 「人が人になるには人が必要」

家庭・地域の教育力は以前に比べ、ぐっと落ちているが、学校は昔同様、**人が集まる場**。教師の工夫次第で、「人と人にする」アプローチが可能



2

現代の子どもの姿と
支援の「王道」

キーワードは自尊感情 & ソーシャルスキル

「人が人の中で生きる機会」が失われつつある現代社会

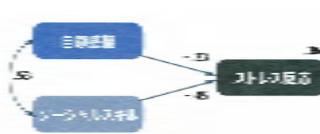
かかわりを通して育まれる
自尊感情 & ソーシャルスキルが育ちにくい子どもたち

- 自分にOKと言えなければ他者には尚更OKとは言えない。自分を大切にできなければ他者は尚更大切にできない
自尊感情(自己評価の感情)を育もう！
- 他者とかわる技術・コツがなければ他者を大切にできない
ソーシャルスキルを育もう！

3

メンタルヘルスに影響を及ぼす
自尊感情 & ソーシャルスキル

子どものストレス(不適応感)に、自尊感情 & ソーシャルスキルは大きく影響します



5・6年児童(194名)のストレス(不安、怒り、無気力、身体反応)に影響を及ぼす要因は複数考えられるが、自尊感情とソーシャルスキルの2要因だけでも、ストレスの36%を説明できる。特に、**ソーシャルスキルの影響**が大きい。また、自尊感情とソーシャルスキルには相関関係がある。以上のことから、小学生の場合、**まずはソーシャルスキル育成に焦点をあてる。ソーシャルスキル獲得に伴い、自尊感情も高まり、ストレス軽減(適応感の向上)につながるだろう(曾山)。**

4

「関係づくり」の
3ステップ

学校と創った3ステップ

岡崎市立矢作北小、亀山市立神辺小、小松市立蓮代寺小、いなべ市立藤原中、東員町立城山小、刈谷市立依佐美中、西尾市立米津小

- ステップ1; 「一枚岩」の体制をつくる
- ステップ2; 「関係づくりの花火」を打ち上げる
- ステップ3; 「関係づくりの火」を灯し続ける

春日井市立西山小、瀬戸市立古瀬戸小、可児市立旭小、西尾市立一色中、あま市立七宝中、四日市市立三重平中 等々が実践展開中！
そして、新たに鳥取市立桜ヶ丘中が新年度より導入予定

5

ステップ1; 学校が
「一枚岩」になるために

依佐美中全教師アンケート結果から見えた**5つの柱**

- 常に「チーム依佐美」を意識づける
- 管理職 & ミドルリーダーが自ら「してみせる」
- やると決めたことは全員で徹底する
- 目的達成の手段(よさびタイム)は「シンプル・おもしろい」ためになるものにする
- 外部専門家を活用する

大規模校にもかかわらず、「一枚岩」を創り上げた先生方は「教育のプロ」！



6

ステップ2; 「関係づくりの花火」を打ち上げる



よりよい「花火」の5条件

- 短時間の活動であれ
- ルールと型が徹底された活動であれ
- 繰り返し行える活動であれ
- 友だちとのかかわりを楽しめる活動であれ
- 教師自身も楽しめる活動であれ

5条件を満たす「よさっぴタイム」

7

最高の打ち上げ花火「よさっぴタイム」

子どもは遊ぶのが如くても、私は遊んでいない

- SSTとSGEのねらいを統合
- 毎週1回、月曜日5限開始前の10分間活動
- ルールは3つ; 「お願いします & ありがとう」「頷いて聴く」「指示をしっかり聴く」
- 4人グループでの活動が基本

よさっぴタイム 体験!
定番「アドジャン」&「アドジャンアドバンス」

8

ソーシャルスキル・トレーニング(SST; Social Skill Training) ~ 教えることがなじむ技法 ~

□ SSTは行動の教育

＜基本展開＞

1. インストラクション(言語指示)
2. モデリング(示範)
3. リハーサル(実行)
4. フィードバック(評価)

1. インストラクション(言語指示)
2. モデリング(示範)
3. リハーサル(実行)
4. フィードバック(評価)

ねらい; 挨拶、話の仕方()です)、話の聴き方(頷き、視線、表情等)

9

構成的グループ・エンカウンター(SGE; Structured Group Encounter) ~ 教えることがなじまない技法 ~

SGEは感情の教育

「 に気づいた、 を感じた」等、個々の気づきをうながす。

ねらい; 自他理解

10

ソーシャルスキル・トレーニングと構成的グループ・エンカウンターを支える理論

- SST 行動理論ベース
- SGE 実存主義、ゲシュタルト理論ベース

恩師・國分康孝先生に学んだ「りんごを描かせる」エピソードとは

11

ステップ3; 「関係づくりの花火」を灯し続ける

よさっぴトーク

特に依佐美中のすごいところ!

- 各教科等の授業中に取り入れる
ペア・小グループでの話し合い活動
- 「よさっぴタイム」でねらった自尊感情&ソーシャルスキル育成を「強化」と「般化」するための活動

「よさっぴタイム」効果が「よさっぴトーク」に活きている!(教師の声)

男女ペアワーク等に全く抵抗がない/授業中の話し合いがスムーズ/人と話すことに抵抗がない

12

「王道」ステップの効果は？

エビデンスがあります



左のグラフは、A小B組のQ-U「学校生活意欲尺度」データ。全項目とも、統計的に有意なプラス変動あり

* A小は依佐美中同様の実践を展開している

<依佐美中生徒の声> 誰とも話ができるようになった / 気軽に男女関係なく話せるようになった / みんなで笑い合えるようになった 等

<依佐美中教師の声> よさっぴタイムで身につけた「かかわりの型」はあるが、笑顔、話し合いを続ける姿は本物 / 学級の雰囲気は温かくなった 等

13

プラス 自尊感情育成

子どもは大人から愛されれば愛されるほど非行から遠ざかる(水谷)

- すべての子どもの「グローブ」に「ボール」を投げる
- 友だちの声を使う *特に思春期の子どもに
- 陰ばめを使う *特に思春期の子どもに

自分にOKと言えない人は、他者には尚更OKとは言えない。自分を大切にできない人は、他者は尚更大切にできない。だからこそ、**自尊感情(自己評価の感情)**を大切に！
頑張っている自分・仲間に「OK」と言おう！

まずは、**自分にOKと言うことから始めよう！**

14

プラス ソーシャルスキル育成

言い続けましょう！

- 気持ちのよい挨拶
- 丁寧な言葉づかい(話の仕方)
- ありがとう&ごめんね
- 話の聴き方(頷き、視線、あいづち)
- 笑顔

「打ち出の小槌」は、振ることによって様々なものを出せるという**伝説の小槌**。生徒が、「先生、あのね」と言ってきたとき、「なるほど」等、首を縦に振る「頷き」は、生徒と教師の間に「信頼」「安心」を生み出す、**現実の「打ち出の小槌」**。

頷きという「小槌」を振ろう！(打ち出の小槌理論！?)

15

「関係づくり」に悩む君に伝えたい7つのこと




16

Monday Pocket

最高の思い出！ ナイスガイ「ハングル少年」

関係づくりの第一歩は相手への関心

- 「この子は何が好きなのだろうか？」「この子は何が得意なのだろうか？」等、かかわる子どもの「リソース(資源、財産)」を貯めておく
- 子どもの「リソース」を使い、言葉をかけていく
- 特に、教師であれば、気になる子のリソース探しがどれくらいできるか それが「腕の見せどころ」!

17

Tuesday Pocket

私の「軸足」はSGE、親業 等

「I think」の前には理論が必要

- 経験を重ねた後には、教育学、心理学等の理論にふれ、その中から自分の「軸足」となる理論を選び、深く学ぶこと
- そうすることで、子どもの前に立つとき、「ブレ」がなくなる



18

これは
実存主義哲学

Wednesday Pocket

人生の主人公は自分自身

□ 私は私 あなたはあなた
私がこの世に生きているのは、
あなたの期待に応えるためではない
また、あなたがこの世に生きているのは、
私の期待に応えるためではない

↑

パウルズ「ゲシュタルトの祈り」より



19

小林ハル氏の
言葉です

Thursday Pocket

人生には「祭りと修行」がある

□ (相性の)「良い人と歩けば祭り、
悪い人と歩けば修行」

↑

「考え次第で悩みは消える」
エリスの「論理療法」に重なる言葉

↑

きっと、祭りも修行も
「人生の糧」になるわ!



20

覚悟が大切!

Friday Pocket

子どもに要求することは全て自分がしてみせる

□ 「笑顔が大切!」「頷いて話を聴こう!」
「挨拶しよう!」「協力しよう!」
「時間を守ろう!」等々

↑

「子どもは親の「する通り」になる」
渡辺和子氏の言葉に重なる



21

「軌跡が奇跡を
生む」

Saturday Pocket

あきらめずに「関係のトンネル」を掘る

□ ある校長の若い頃のエピソード。女子生徒とのかかわりを
あきらめた自分への後悔

□ あきらめなければ、
「関係のトンネル」は貫通する。
子どもという「岩盤」は、私たちの
働きかけという「ドリル」を跳ね返す
ほど堅くない、と信じる



22

子ども「私」も
頑張っています

Sunday Pocket

今見ている景色を楽しむ

□ 子どもとの関係づくりに悩むのは
真摯に向き合っているから!

□ 子どもと一緒に登ってきた「道」を
振り返ると、山の麓がはるか下方にある
ことに気づくことがある。今、立っている
場所から見える景色も悪くない。そこまで
登った子ども、自分を褒めてよい



23

おわりに

～共に「王道」ステップを歩みませんか?～

もし、今日、少しでも気持ち
が動いたならば、すぐに実践!
私も喜んで「応援」に駆けつけ
ます!




24